

「HSK 季刊わたぼうし」 第56号

発行者:わたぼうし連絡会

発行日:2001年(平成13年) 12月9日 '01冬号

第56号の特集

- 1 ユニバーサル旅行記
- 2 2001年障害者の日・障害者週間

コーヒーの 一杯二時間 いる無職

比呂雪

この機関紙は障害のある人、ない人が自由に考えを出し合い、主義・主張を越えて、お互いを理解し合う中から共に生きる豊かな社会を作っていくことを目的として発行しています。

特集1・ユニバーサル・スタジオ・ジャパン旅行記

今回は趣を変え、編集責任者のユニバーサル・スタジオ・ジャパンへの旅行記、富山生きる場センターのご協力でユニバーサルのバリア・フリー報告・を掲載します。

ユニバーサル・スタジオ・ジャパンへ旅行して

編集責任者・桶屋 善一

※七尾から大阪駅へ

9月12～13日に秋空の中、和倉温泉駅よりサンダーバードを利用して大阪のユニバーサル・スタジオ・ジャパンに行って来ました。七尾を出発する朝はアメリカで発生した同時多発テロのニュースが流れており、本当に大変なことが起こったと思いながら、青山彩光苑からバスに乗り和倉温泉駅に向かいました。

駅に着くと、同時多発テロのニュースを報道している朝刊が積まれており、私が眠っている間に起こったことだと知りました。

サンダーバードに私たちは付き添いの方、駅員の方に車いすを持って乗せてもらいましたが、乗降口は車いすも出入りができるスペースはあります。しかし、座席の通路は車いすが通るには狭いと思いました。

久しぶりに乗った特急列車の車窓からは、稲刈りの終わった田んぼ、はぞにかけられた稲が目に入り、湖西線に入ると琵琶湖などを楽しみながら、大阪駅に着きました。

大阪駅に着きエレベーターを利用し、駅の外に出ましたが七尾や金沢とは違い、駅の広さ、乗降客の多さにびっくりしました。列車が着くたびに改札口にまるで洪水のように乗降客が乗ってくるのに驚きました。先日、兵庫県で起こった花火大会見物の将棋倒しの事故も、このように起こったのかと恐怖を感じながら、駅前で待っているバスに乗りました。

今回、私たちが利用したバスは、大阪のバス会社のリフト付き大型観光バスでした。これも私にとっては初めての体験でした。このような観光バスがあることも知りませんでした。

このバスのガイドさんは、和倉温泉のことや七尾市内のお店のことをよく知っており、本当に大阪に来たのでしょうかと、一瞬迷いました。ユニバーサル・スタジオ・ジャパンの障害者関係施設については、「富山生きる場センター」より記事を提供していただきましたので、そちらをご覧ください。

7月に完成したばかりのホテルに着き、荷物などを置いて隣接のユニバーサル・スタジオ・ジャパンに入場しました。当日は天気も良く暑いぐらいの日でした。

会場は歩行者天国になっており、1960年代のアメリカの街作りになっていました。木の電柱や家を見ていると、名犬ラッシーやララミー牧場をテレビで見た頃を思い出しました。

今回は、時間の関係で2館しか見ることができませんでした。どれもこれも平日だというのに、1館を見学するのに30～60分待ちでした。

※私が回ってきた館

『一つはターミネーター2:3Dでした。ハリウッドの特撮技術が生んだ世界初の3Dサイバー・アドベンチャーがやってきました。未来を賭けた人類とサイボーグの戦い。のけぞるほどの超立体映像がすぐ目の前に迫ります。』

映画というより立体画像でした。未来のサイボーグが私の目の前に迫ってきたり、ドライアイスによるシャワーかかってくる。入る時は怖い思いをしましたが、出てくる時は未来から帰って来た思いでした。

ターミネーターを出て館内の散策です。散策をしていますと、人がとぎれることなく歩いてくるのに驚きました。もう終わりかと思ったら、また次の集団に出会うという形で、ウォーターワールドに着くまで人波の怖さをまたも見ました。途中、レストランに入って飲食をしたり、ディズニーのキャラクター達と記念撮影、などを楽しみながら過ごしました。

2つ目はウォーターワールドでした。水上基地を再現した巨大なセットは、まさに映画そのもの。モーターボートや水上バイクが猛スピードで滑走し、驚異的なスタントシーンが次々に繰り広げられます。火柱があがり、水しぶきがあたりを包む。そして仰天のクライマックス！

これも後ろの方に車いす専用の座席があります。前で見たい方は着替えを準備していくことが必要です。水でびしょぬれになる覚悟で見て下さい。

この後、日没で夕方の館内を散策したり、飲食店で休憩、お土産を買ったりして宿泊のホテルに向かいました。

※ホテルに着いて

ホテルに着き一休みというより、さっそくテレビを付けて、テロのニュースを見ました。どのテレビ局もテロのニュースでした。沢山の人が亡くなったことを知って、夕食に行きました。

旅館とは違って、日本食でないのは寂しく思いました。いつも泊まる所の頭にあるのは刺身付きの御膳が出てくることです。しかし、ここはホテルと思いながら食事をしました。

私の泊まった部屋は、障害者専用の部屋でした。言葉では説明ができませんので写真を掲載します。私のような重度の人は、障害者専用となっても、入浴はしにくいし不便でした。

※大阪見物

翌日は大阪見物です。大阪城、大阪ドームなどを見ましたが、私はなぜか、NHK大阪放送局が気になりました。それはNHK教育テレビで毎週金曜日放送の「きらっと生きる」やNHKラジオ第二放送で毎週日曜日放送の「ともに生きる」という障害者番組が制作されているからです。いつも見ている番組がここで制作されているのか、「きらっと生きる」の牧口一二さんはいつもここに来ているのかと思いながら、バスの車窓から見ていました。また、今度、12月9日（日）に青山彩光苑へ講演に来られる谷口明広さんも「ともに生きる」に出演されています。大阪放送局も新社屋が建設され、NHK大阪のホールも完成していました。

大阪城は太閤秀吉が建設したのですが、現在ではエレベーターも着いており、近代的なものに変えられています。4方向のどこから見ても正面に見えました。

しかし、こんな近代的な街の中に、テント生活をなさっている方々の青いテントがたくさんありました。様々な事情で生活をなさっているのだらうと思います。

※海遊館

これらを後にして、海遊館という水族館に向かいました。ここには世界一大きな天保山大観覧車があります。今回は観覧車に乗りませんでした、大きさに驚きました。

この水族館にはジンベイザメを始めとしてたくさんの魚介類が飼育されています。館内を回りますと多くの魚たちに出会いますが、何故か自分たちに何かを語りかけてくるような気がします。ウミガメや魚たちが大きな目をして自分の方に近づいてくると「こんにちは」「オイ、変な者が来ているぞ」と言っているような気がしました。本当に可愛い魚たちでした。

最後に、車いすで旅行をできるようにバリアフリー化が進み、以前より動きやすくなっていますが、体力的に無理を感じました。

「2002年カレンダー販売」のお知らせ

羽咋市・東山 春充

「自立の第一歩」を目的として、パソコンと周辺機器を購入しました。これらにかかる資金を捻出するために口にペンをくわえてかいた文字と絵を載せた「カレンダー」を販売しています。郵送希望の方は下記のメールアドレスへ連絡をお願いします。

woodpecker@p2282.nsk.ne.jp

カレンダーが到着すると支払い方法(郵送に限る)の詳細書類も一緒に同封されて届きます。なお、カレンダーは『一枚500円』ですが、郵送を希望される方は送料も負担をしていただいていますので御了承ください。

直接、羽咋市社会福祉協議会へカレンダーを取りに行かれてもありますのでよろしくお願いします。

〒 925-8506 石川県羽咋市鶴田町亀田17番地
羽咋市老人福祉センター内
社会福祉法人・羽咋市社会福祉協議会
TEL：0767-22-6231
FAX：0767-22-6189
皆さ～ん、買ってね。(*^-^*)

富山生きる場センターのユニバーサル・スタジオ関連情報

協力・富山生きる場センター

障害があっても楽しめるアトラクションは？

※18種類のアトラクションの内、13種類が車椅子のまま利用可能。

アトラクションは、ショー形式とライド(乗り物)形式の2種類です。アトラクションによっては、身長制限や健康状態など細かな制限がありますが、大体のアトラクションの利用が可能です。中でもおすすめアトラクションは「バックドラフト」本物の炎を使用しているため、迫力は抜群です！視覚・聴覚障害者の方々も楽しめるアトラクションです。

ショー形式、車いすスペースあり、盲導犬、介助犬、聴導犬の入場可、テレビ・プロダクション・ツアー、ステージ22、バックドラフト、ユニバーサル・スタジオ・モーション・ピクチャー・マジック、アニメ・セレブレーション、モンスター・メーカー、ターミネーター2：3D、ウォーターワールド、ハリウッド・マジック、アニマル・アクターズ・ステージ、ザ・ワイルド・ワイルドワイルド・ウェスト・スタント・ショー、ロッキン・ミッドナイト・モンスターフェスト

ライド形式(乗り物)・乗り換えが必要。介助者の補助があれば利用可能。・盲導犬、介助犬、聴導犬は所定の場所で待機の場合あり。

※E. Tアドベンチャー

(車いすのまま利用可能)、バック・トゥ・ザ・フューチャー・ザ・ライド、ジュラシック・パーク・ザ・ライド、ジョーズ、スヌーピー・サウンド・ステージ・アドベンチャー、スヌーピー・プレイランド。

※路上・パフォーマンス！

路上で様々なパフォーマンスが行われていました♪時間などは、不定期。突然、どこからともなく現れ、道を歩くお客さんを巻き込みパフォーマンスが繰り広げられるのです。音楽演奏や、ストリートダンス、アクション&笑いのショーなど、ただ歩いているだけでも楽しめる空間です。

私たちが見たのは、土曜日のみ行われている野外ステージの宣伝。今回は残念ながらショーは見ることはできなかつたのですが宣伝だけでも見ることで良かったです。今度行く機会があれば是非、見てみたいものです。

※トイレは何力所くらいある？

車いす対応トイレ12ヶ所、レストラン内車いす対応トイレ11ヶ所、オストメイト・車いす対応トイレ2ヶ所、車いす対応介護ベット付きトイレ1ヶ所。各アトラクションの近くにトイレがあり、わざわざ戻らなくてもよいつくりになっています。

スペースは広く、中で自由に回転できるつくりです。便座も車いすとの高さときほど変わらず、移動の負担がかからないように配慮されています。手すりは固定型と左右移動型。

高さは便座に座っても握れる高さに設定されています。ただ介護ベット付きのトイレは1ヶ所のみで、パークの中心に設置されているため戻るのが大変です。できれば全てのトイレに介護ベットが設置してあればよかったです。一般のトイレも段差はなく杖や歩行器を使用している方も大丈夫です。

※食事をする場所はどんな作り？

洋食・和食・中華といろいろなものが食べられます。とにかく飲食店の数が豊富で何を食べようか迷ってしまうくらいです。店内のつくりですが、一般の飲食店とあまり変わらない作りとなっており、中には車いすのままでは入りづらい所もありますが、店員さんが色々やってくれるのでその辺は問題ありません。

※ウチらが食べた食事はコレ！

1日目：本格派中華料理を満喫～♪格安料金で本格中華が楽しめお腹も満足。5人で1万円くらいあれば、いろいろなメニューが楽しめます。店内の中に電車(?)が通り、おもしろいパフォーマンスを披露と変わったお店です。

2日目：日本人はやっぱり「蕎麦(そば)」でしょう～♪ということで日本蕎麦を食します。天ざるセットがおすすめです。大きなエビ天で食べごたえ十分！デザートに頼んだ、胡麻(ごま)アイスクリームもなかなかイケます♪

※パーク内の作りはどんな感じ？

外国の町並みをそのまま再現。日本なのに外国旅行しているような感覚になる不思議な空間です。アスファルトやレンガ風の道などあり、カタカタしている所もありますが、問題ありません。段差も少なく、車いすでの移動もスムーズです。

また、パーク内には乗り物はなく、全て徒歩での移動となります。かなり広いので、移動でるのに疲れますが所々に、ベンチや喫茶店で憩を取りながら、のんびり過ごすのもいいかもしれませんね(^_^)

※入場料の割引はあるの？

チケット(スタジオパス)は入場当日全てのアトラクションが利用できます。

入場チケットの購入は、お近くのローソンまたは、JRの窓口で購入できます。また、障害者割引がありますが、ローソンでの購入はできませんのでご注意ください。

障害者料金で購入の場合は、旅行代理店を通じての購入となります。その際、手帳を持参してください。いちいち、旅行代理店へ足を運ぶのも面倒ですが、交通機関やホテルの予約を兼ねると良いかもしれません。

【入場料】

- ・大人(中学生以上) ¥5,500
- ・子ども(4歳～小学生) ¥3,700
- ・シニア(65歳以上) ¥4,800

【障害者料金】

- ・大人（中学生以上） ¥2,750
- ・子ども（4歳～小学生） ¥1,850

※障害者料金は本人+付添人1名が割引の対象となります。

手帳は、【身体障害者手帳・療育手帳及び認定カード・精神障害者保健福祉手帳・被爆者手帳・戦傷痍病者手帳】のいずれもOK。また、1種2種とか、1級2級等による区別はありません。

その他一般情報

【駐車場】障害者専用駐車場あり。（パークの北側で98台が車いす専用）料金所で係員に申し出れば障害者専用駐車場タグをもらえます。障害者手帳を掲示する場合、駐車料金は一般と同じ ¥2,000です。

【レンタル】車いすや電動三輪車のレンタルを行っています。車いすのレンタル料は1台 ¥500 電動三輪車のレンタルは1台 ¥3,000 数に限りがあり、必ずあるとは限りません。

【バリアフリー・ガイド】車いすトイレやアトラクションの利用ができるかなど詳しく表示してあります。入り口で係員に申し出ると、もらえます。

ユニバーサルスタジオまでの行き方は？

環状線－西九条で乗り換え、桜島線－ユニバーサル・シティ駅下車。

ユニバーサル・シティ駅は新しくできた駅で、完全バリアフリーです。駅を出てすぐ、目の前にユニバーサルスタジオが見えます。帰りは混雑することがあるので、駅に着いたら帰りの切符を買っておくと便利です。

まとめ

簡単にまとめてみましたが、いかがだったでしょうか？

もっと詳しくお伝えしたいのですが、とても1日では周りきれなく簡単なことしか掲載できませんが、少しでも参考になればと思います。また、今までの遊園地では楽しめなかった障害者の方も十分楽しめると思います…。おすすめは、平日！土日・祝日は混雑してるかもしれませんが…(^_^; 待ち時間を合わせても3～5種類くらいのアトラクションが楽しめます。夏休みの旅行に是非、行ってみたいはいかがでしょうか？

文責＝杉瀬

ユニバーサルスタジオでの感想

富山生きる場センター・前田 慎也

4月14～15日の2日間「ユニバーサルスタジオ」へ行ってきました。アトラクションはまず最初に「バックドラフト」を見て、びっくりしました。炎が出たと思ったら水が僕めがけてかかりました。感動と驚きでした。

そして次は「バックトゥーザフューチャ」に乗り3D画面での迫力はものすごかったです。何が驚いたかという恐竜に飲み込まれる所です。乗り物の「デロリアン」は横に揺れたり縦に揺れたりして感動でした。また乗ってみたいなと思いました。

これらの乗り物に乗って思ったことは何度見たり、乗ったりしても飽きてこないということです。僕はまたユニバーサルスタジオへ行きたいなと思いました。

ユニバーサルスタジオの感想

富山生きる場センター・室谷 伸武

4月14～15日の両日「ユニバーサルスタジオ」に行ってきました。

食堂街は、中華料理店や、和食店など、いろいろあります。特に中華料理店では、店員さんに「ここの通路、乗り物が通りますので、席を移動してください。」と言われ、移動をしたのですが、何が通るのかと思ったら、何と「電車」でした。

ものすごく、店内は広くて、店員さんの対応も良く、料理もうまい。その他にも、「キングコング」の看板がかかった「アイスクリーム屋」や路上販売の「ホットドック屋」などがあります。僕は、「ホットドック」はあんまり好きではないのですが、苦にせず食べられました。一般的には、ケチャップをかけるのが普通ですが、僕はこぼしてしまうのでかけません。

ユニバーサルスタジオの飲食店は、どこに行ってもおいしそうな感じでした。機会があれば、また行きたいです。

2001年秋・イベント報告

第9回はくい福祉まつり

羽咋市・東山 春充

平成13年9月30日（日曜日）に羽咋体育館・羽咋市文化会館及び前広場で『第9回はくい福祉まつり』が開催されました。

羽咋体育館内に参加者と役員全員が集まって、羽咋市立羽咋小学校の鼓笛隊が素晴らしいオープニングを飾った余韻の残る中での開会となりました。年々、各ボランティア団体を始め、企業や福祉施設などからの参加数が増えたと同時に会場へ足を運んでくださる人の数も増えて賑やかな「はくい福祉まつり」になってきました。

また、裏方で支える学生ボランティアさんの参加も多かったので障害の有る無しに関わらず、皆が大変に助かりました。文化会館の正面玄関前から入ると、正面にあるロビーが喫茶と食事のコーナーというにも関わらず下りる所が階段になっているので垂いすが下りていけません。そこで、職人さん達の協力で立派なスロープが設置されました。

車いすの利用者には車いすは単なる乗り物ではなく、皆と同じ『足』の一部で体の一部なのです。車いすが体の一部ならスロープも体の一部なのに、祭りが終了すると立派に設置されたスロープを取り壊してしまうことを聞きました。

障害がある者には介助者が少しでも負担にならないようにと、守ることを考える義務もあると思うのです。なぜなら、介助者がいないと生きていけないことにもつながるからです。仮のスロープといえども立派なので絶対、スロープを取り壊さないように羽咋市長さんをお願いをしました。

毎年、「はくい福祉まつり」の日は天気が悪い・んです。3年前は霧雨が降っていて凍るかと思うほど肌寒い日だったし去年はというと…ドシャ降りの雨でした。

今年は朝から小雨でした。このまま雨が降ると外にテントを張って張り切っている皆さんは体育館と文化会館の中に移動も考えていたと思います。

空とのニラメッコで気が気でなかったと思いますが、幸いなことに曇の状態でもエンディングまで天気が持ってくれました。祭り前日まで雨らしい雨の降らない日が続きましたが、「はくい福祉まつり」の当日になると天気が崩れるのは「雨男」か「雨女」がいるのでは…外のステージで隣町のバンドグループで“キャプチュード”の演奏でエンディングを迎えることになりました。

最後は“キャプチュード”の曲で「はくい福祉まつり」のテーマ曲にもなっている「LOVE」に合わせて会場に集まった皆と手話で、体中で歌い盛り上がりました。そして、来年も皆と元気に会う約束を交わして「第9回はくい福祉まつり」が無事に閉会されました。

第4回七尾市障害者福祉大会

七尾市・竹腰 一郎
桶屋 善一

10月7日に「ともに創り ともに生きる」というテーマで七尾市サンライフプラザ中ホールに於いて行われました。

七尾市石垣市長のあいさつに始まり、福祉関係功労者に対して表彰が行われました。その後、「これからの福祉を考える」というテーマで青山彩光苑長・眞藤健氏の講演が行われました。今回は、眞藤氏の講演会を中心に書いていきます。

講演の中心テーマは「平成15年度からの措置制度の支援費支給方式への転換」でした。現在の措置制度から支援費支給方式に変わります。

現在の措置制度は措置費が、指定事業者に福祉事務所から支払われていましたが、支援費支給方式では利用者が直接、指定事業者を支払うことになります。ただし、施設等に入所されている方は従来通り福祉事務所から指定事業者を支給されます。(平成13年10月現在)ただ、支援費の一部負担金の支払いについては、直接、利用者が指定事業者(施設)を支払うことになります。

施設等の利用希望者は、従来の行政指導の手続きではなく、利用者本人が指定事業者に直接、利用申し込みができるようになります。

現在の措置制度では、私たち利用者はサービス等の選択希望を事業者に直接伝える等を行うことはできませんでしたが、支援費支給方式になりましたら、希望を伝えたり、他のサービス事業者を選択できるようになります。しかし、利用者の自己責任も重くなってきます。

石川県では施設を選択する場合、ほとんど利用者の希望通りの施設を選択できますが、人口の多い都会では現在でも、施設利用希望の順番待ちをしている方が多く、福祉事務所の割りふりが行われており、利用者の希望する施設を選択できないそうです。

眞藤氏は青山彩光苑に勤めて15年になられますが、初めてこの仕事に就いた時、自分で施設を選択できないことに疑問をお持ちになられたそうです。例えば、商品を買う店を選んだりするように、「利用者がサービス等を選択できな制度はおかしい、いつかはなくなる」と思っておられたそうです。

最後に、眞藤氏はこれからの福祉に対応して「選択する福祉であり、主体性(自律)と責任が利用者もサービス提供者も問われます。」とっておられました。

講演終了後、石崎保育園児の鼓隊、和倉保育園児のいでゆ太鼓・よさこい踊り、青山彩光苑利用者によるよさこい踊りが披露され、「手のひらを太陽に」の合唱で大会が終了しました。

特集 2・2001年障害者の日、障害者週間

どんな障害をもつ人でも特別視されることなく、社会の中で一個人として普通に生活したり、社会参加できるようにする。ノーマライゼーションやリハビリテーションの理念は、人びとの中に大分定着してきたかのように思われます。

しかし、障害をもつ人が生活していくためには、まだまだ妨げとなっている壁も多く、解決されなければならない問題も、山積みです。そのためにも「障害者の日」と「障害者週間」は大変意義のある啓発活動といえます。

☆「障害者の日」とは一体なんだろう？

昭和56年の国際障害者年を記念し、障害者問題について、広く人びとの理解と認識を深め、障害者の福祉の増進を図るために「障害者の日」が設けられました。

「障害者の権利宣言」が国連総会で採択された日（1975年12月9日）を「障害者の日」としました。

さらに平成5年12月3日に公布された障害者基本法に12月9日を「障害者の日」とすることが明記されました。

☆「障害者週間」とは一体なんだろう？

障害をもつ人びとに対するバリアを取り除き、障害者の「社会参加」を推進していくためには、一人ひとりの理解と認識を深めるための広報啓発活動が重要です。

日本では昭和56年の国際障害者年に12月9日を「障害者の日」と宣言し、記念の集いや広報啓発に努めてきました。

国連では、平成4年12月3日を「国際障害者デー」と宣言し加盟各国に対しこの日の挙行を要請しています。

このような動向を踏まえ、「国際障害者デー」であると同時に障害者基本法の公布日である12月9日までの一週間を、障害者自らの自立と社会参加への意欲と国民の障害者問題に対する理解と認識をより一層高めるための運動を展開する期間とすることになっています。

平成7年度から毎年12月3日から9日までの一週間を「障害者週間」とします。

★障害者週間の強調テーマ

- ・ノーマライゼーションの理念の普及
- ・障害者の「完全参加と平等」の実現
- ・福祉のまちづくりの推進
- ・「障害者の日」（12月9日）の周知
- ・「アジア太平洋障害者の十年」（1993年～2002年）の周知

★障害者週間中こふおう法啓発活動の展開

関係省庁は、それぞれの立場で関係団体とも協力し、障害者関連の行事イベント等を実施します。地方公共団体、障害者団体、民間機関等にも、キャンペーン活動等の実施を呼びかけます。

「障害者の日」「障害者週間」である月でのイベント、広報啓発活動は重要ですが、地域の中で日々、取り組まれている活動に、ノーマライゼーションの理念を取り入れたプログラムなどの工夫が、必要と思われれます。

青山彩光苑・障害者週間の特別ゲスト紹介

12月19日(11)10:00～12:00

障害者の日・講演会 I の講師

谷口明広氏

(たにぐち あきひろ)

※講演テーマ

「ともに生きる社会をめざして

夢を持ち、夢を叶えて生きるには…」

※プロフィール

1956年京都市生まれ。生後間もなく重症黄疸のために脳性マヒとなり、四肢および体幹機能障害で車いすを使用しています。5才から6才にかけて足部に13カ所の手術を受け、京都市では入れる学校がなく1年遅れで大阪の堺養護学校に入学、高等部まで進む。卒業後、障害者に門戸を開いていた「桃山学院大学」の社会学科へ進学する。大学卒業後、同志社大学大学院社会福祉学専攻に進み、2年次に障害者米国留学研修制度に合格、米国カリフォルニア州バークレー市にあるC I L (Center for Independent Living)で自立生活概念やアテンダント制度を学ぶ。1984年4月に修士課程を修了したと同時に地域での自立生活を実践し、自立生活問題研究所を設立する。3年間の現場活動を経験した後、同志社大学大学院同専攻の博士課程に進学する。それと同時に研究所の所長となり、現在は四国学院大学や佛教大学などの非常勤講師であると同時に、全国各地で講演者やシンポジストとして活躍しています。

また、自立生活支援センターの事務局長として現場を持ち、NHKラジオ「ともに生きる」のコメンテーターとして、幅広い活動を展開している。『平成6年度京都新聞社会福祉奨励賞』を受賞した。近年になり、障害のある人たちの自立生活と障害者ケアマネジメントの有効性に関する研究を主なテーマとしています。

現在

- ・自立生活問題研究所所長
- ・大阪府立大学非常勤講師
- ・関西学院大学非常勤講師

- ・ 仏教大学通信教育学部非常勤講師
- ・ 四国学院大学大学院非常勤講師
- ・ 京都国際社会福祉センター非常勤講師
- ・ (財) 京都新聞社会福祉事業団自立生活支センター「きらリンク」事務局長
- ・ (財) 広げよう愛の輪運動基金 評議委員
- ・ 医療法人茂桂会上田外科医院監事
- ・ 社会福祉法人すてっぷ理事
- ・ 介護者派遣会社「アワハウス」顧問
- ・ 「阪神航空」夢王国 アドバイザー
- ・ NHK大阪「ともに生きる」番組評議員
- ・ 厚生労働省障害保健福祉部企画課障害者介護等サービス体制整備検討委員会委員
- ・ 厚生労働省障害保健福祉部企画課社会参加推進室介護犬に関する検討委員会委員

※所属学会

日本社会福祉学会・日本地域福祉学会

日本リハビリテーション総合科学学会

※著作

『自立生活は 楽しく 具体的に』かもがわ出版

『社会福祉実践の思想』(分担執筆:「自立の思想」ミネルヴァ書房)

『障害をもつ人たちの性』明石書店、

その他多数がある。

青山彩光苑障害者週間・障害者企画の講師

平井 誠一 氏

(ひらい せいいち)

(富山自立生活支援センター 富山理事長)

1953年富山県生まれ。生後6ヶ月目に発熱、自性小児麻痺になりました。3歳から施設に入り、中学校1年生の1学期までいて、その後養腰学校に高等部を卒業までいました。それから石川の職業訓練校に1年間軽印刷を学ぶ。

就職は、福井県の印刷屋さんに勤めましたが、その後富山に帰り、中小企業の印刷会社に勤めました。その後、障害者運動に関わり、1985年に障害者自身が運営管理する通所の作業所を発足。

1990年日本のNGO団体の理事に就任。世界のマイノリティの問題に関わり、フランス、アメリカ、フィリピン、ドイツの国々を訪問、各国の障害者達と交流を行いました。また、1995年から富山大学の非常勤講師を務めました。

2000年には、自立生活支援センター富山を発足し、その年の11月には特定非営利活動法人として認証されました。

現在は、富山県下の小・中・高校に障害者の講師派遣を行ってきています。また、県下の社ま福祉協議会などからも講師派遣の依頼を受けて、講座やピア・カウンセリングを行

っています。

昨年から、養護学校の自立推進委員を務め、今年もう一カ所の養護学校の自立推進委員を務めるようになりました。

今年の障害者週間

編集責任者・桶屋 善一

今年の青山彩光苑の障害者週間に、谷口明広さん、平井誠一さんをお迎えすることは夢のようなことです。

お二人とも、私と関係がある方です。谷口明広さんのお母さんは加賀市の出身で、私が南陽園に入所していた時、彼が大学の夏休みの時に2ヶ月近く南陽園で実習をしていました。その時、実習の担当が私でした。

今年の5月に実行委員の方に平井誠一さんを障害者週間の講師に迎えられないかと話を持っていきましたら、谷口明広さんに決まっていると聞いて驚きました。それもまた、偶然にも「札幌いちご会」の機関紙「いちご通信」の5月号に谷口明広さんの講演録が掲載されており、驚きました。

また、平井誠一さんと出会いは「ほほえみの石川大会」の年に友人に紹介されたことがきっかけです。平井さんには青山彩光苑まで足を運んでもらってパソコンを教えていただいたり、この「HSK季刊わたぼうし」が第3種郵便認可を受けるきっかけを作っていたできました。

今回、平井さんを講演会の講師としては迎えることはできませんでしたが、実行委員会の温かい配慮によって、障害者週間が始まる前の11月15日に平井さんによる勉強会を開いていただき感謝をしております。

この他、盲導犬ベルナでおなじみの郡司七重さんが予定されています。

障害者週間イベント

特別講演会

- 講演日時：平成13年12月8日(土)
14:00～15:30
- 会場：七尾市和倉温泉観光会館(大ホール)
- 講師：郡司 ななえ 先生
- 講演内容：『ベルナが教えてくれたこと』
- 入場料:無 料

郡司（ぐんじ）ななえ

プロフィール

1945年、新潟県高田市（現・上越市）生まれ。ベーチェット病により27歳で失明。

現在、視覚障害者や盲導犬への理解を広く訴えるため、著作・講演活動を続けている。

「様々な人間と一緒に生きていける社会」をより多くの人々と考えようという主旨で、『ベルナのお話の会』を主宰。全国の幼稚園、小中学校、地域団体等で530回を超える講演を行っている。

主 催：青山彩光苑

共 催：七尾市・七尾市社会福祉協議会

後 援：七尾市教育委員会・北國新聞社

(お問い合わせ)青山彩光苑 障害者週間実行委員会

〒926-0831 七尾市青山町ろ郎22番

電話0767-57-3309

12月9日(日) 障害者の日

第1部 講演会 10:00~12:00 コミュニティーホールにて

テーマ「ともに生きる社会をめざして …夢を持ち、夢を叶えて生きるには…」

講師 京都府 自立生活問題研究所 所長 谷口明弘氏

第2部 地域発表会 13:00~15:00 コミュニティーホールにて

高階保育園園児

朝日中学校ブラスバンド部

フラメンコ

ステップバンビ(手話コーラス)

表彰式・閉会式 15:00~

福祉機器展 10:00~15:00 福祉車両・車椅子・福祉用具など

栄養介護食セミナー 14:00~15:00

東山春充氏 2002年度版カレンダー販売

その他の催し物

レストラン 押し花体験 模擬店 バザー 喫茶店

バス送迎時刻 七尾駅発 9:30 苑発 16:00

お問い合わせ：青山彩光苑 TEL57-3309 松柳・北口まで

マイ・ブックスルーム

盲導犬ベルナ物語

郡司 ななえ 著

画：ふじたかずひろ

発行所:朝日ソノラマ 定価:本体933円十税

ある小学校でのお話の会でした。

まんが家のふじたさんがお父さんとして、その会に参加していたのです。その後、ふじたさんの方から、この物語をまんがにしてみたいのですがと言うお話をいただきました。

え、まんがですか……。私は最初なかなかまんがという事になじみませんでした。

でも、ふじたさんにお目にかかって、そのお人柄のすてきさにこの人ならと思いました。このようにみなさんにお届け出来たのは、ただただまんが家・ふじたかずひろさんの情熱のたまものの一冊の本なのです

編集後記

この号は障害者週間、障害者の日を目指して編集しました。秋号を出してからすぐに編集に取りかかりました。そのため、ホームページ更新も遅れております。年明け頃までには更新したいと思っています。

今回の障害者週間の特集にあたり、青山彩光苑・障害者週間実行委員会の方々にご協力をいただきました。この場をお借りして感謝を申し上げます。ありがとうございました。

(Z.O)

川柳裏表紙

コーヒーの 一杯二時間 いる無職

総務省の調査で日本の9月の完全失業率は過去最悪の5.3%となり、失業者数も357万人となった。企業のリストラが続き、米同時多発テロ、狂牛病問題、有効求人倍キの低下等が社会不安をあおり、消費者の財布の紐が固くなるばかりだ。喫茶店で一パイ350円のコーヒーで2時間も駄弁を続けるパチンコ仲間同志。21世紀初の“日本列島総不況”はいつまで続くのか？ 小泉首相ヨ、どう言い訳なさるの! (比)。